

# ボランティア便り —夕暮れ時に光がある—

発行日：2015年春 第19号  
発行：練馬キングス・ガーデン  
中島 真樹  
編集：真船 結実枝  
ボランティア委員会  
TEL:03-5399-2201  
FAX:03-5399-5220

## 地域公開イベント開催

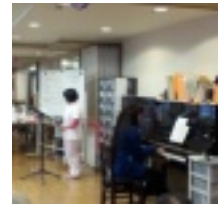


「デイサービスってどんなところ？どんなことをやっているの？」と気になっている方も多いのではないのでしょうか。そのような方のためにいつもデイサービスで行われているプログラムを地域の方を始め、一般の方にもご覧いただけるように【地域公開イベント】を毎月開催することになりました。初回は、毎月音楽ボランティアに来られている『ピアノとお話し』の池村さんと、練馬のコロケこと「ネリコロ」の加藤さんの二組にご協力頂きました。2/5(木)『ピアノとお話し』の池村さんはプロのピアニスト。演奏の素晴らしさはもちろんのこと、お人柄もとても明るく、池村さんがいらっしゃるだけでご利用者の皆様も穏やかな笑顔になられる魅力的な方です(お顔の写真がないのが残念！)。2/6(金)『ネリコロ』の



**2/6(金)『ネリコロ』**  
「高校三年生」など懐かしのメロディを皆さんと一緒に。

加藤さんは、元海外営業マンをされていた方で自称「ふーてん者」。当日は仲間の大内さんとギターの弾き語り、ご利用者の皆様と合唱されました。また、合間には「男はつらいよ」の寅さんのモノマネもあり、ご利用者の皆様も大変喜んでいらっしゃいました。歌もモノマネもトークも素晴らしく一時間のプログラムがあつという間に感じました。当日は、雪が降るような真冬の天気でしたが、2・3階の特養のご利用者やご利用者のご家族も来られ、いつにもまして賑やかなプログラムのひと時となりました。今後も毎月、地域公開イベントを開催しますので、皆さんもぜひいらしてください。



### 2/5(木)『ピアノとお話し』

デイ職員との歌のセッション。賛美歌や「花は咲く」などを披露。

## ゆかいななかま

2/19(木)特養のご利用者の久我様が所属されている、練馬パーキンソン病友の会ウクレレチーム「ゆかいななかま」が演奏に来られました。メンバーは久我様の妹さんやご友人も入れて7名。楽器を弾くことはパーキンソン病の治療方法の一つでもあるそうです。前座で職員によるウクレレと歌の披露があったりと序盤から大いに盛り上がりました。「世界は二人のために」や「翼を下さい」など全14曲を披露。懐かしの名曲に、聴いている皆様も元気をもらっているご様子でした。

久我さんとゆかいななかまの皆さん、素敵な時間をありがとうございました。



☆前列右から2番目が久我様☆

## 東中野KGオープン！

いよいよ3月に東中野キングス・ガーデンがオープンしました。それに先立ち2/6(金)開所式が行われ、開所記念礼拝の中で毎月ボランティアに来られている『ラ・スポーザ』の皆さんの特別賛美がありました。ご利用者や職員から人気の高い「大きな愛」、「ジョイ」の2曲を歌ってくださり、中には涙を流しながら聴いている方もいらっしゃいました。たくさんの方の祈りと支えによって新しい施設が建てられたことを改めて感謝し、これからも共に歩んでいきたいと決意を新たに出来た素晴らしい式となりました。ありがとうございます。



練馬キングス・ガーデンで、ボランティアをしてみませんか。年齢や資格、経験などは問いません。自分の時間や特技をきつと生かせるはず。特に話し相手のボランティアを募集しています。まずは、施設の見学だけでも大歓迎です！

電話：03-5399-2201 担当：真船(まぶね)

### 【ボランティア・コーディネーターより】

寒い冬も終わり、もうすぐ春ですね。私がキングス・ガーデンに入職してから、まもなく1年になります。職場からの帰道、夕暮れの空は毎日少しずつ変化していき、全く同じ日はないことに気がつきます。それと同様に、私たちの人生の夕暮れ時の光も、人によって色や見え方がそれぞれ違うのかもしれない。その人にとって最も自分らしい「夕暮れ時の光」を感じられるよう、キリストの愛を持って仕える心をこれからも忘れずにいきたいと思ひます。

